

第7回中部 MIS_t 研究会 プログラム



会 期:2017(平成 29)年 3 月 26 日(日)10:00~13:15
(受付:9:30~開始)

会 場:ホテルグリーンパーク津 6F 「伊勢」
〒514-0009 三重県津市羽所町 700

参加費:医師/2,000 円、コメディカル/1,000 円

主 催:中部 MIS_t 研究会

日整会単位取得予定の先生は、日整会会員 IC カードをお持ちください

参加者のみなさまへ

- 受付にてお名前、ご所属先を芳名帳にご記入のうえ、参加費（医師/2,000 円、コメディカル/1,000 円）をお支払いください。
- 日整会単位取得をご希望の方は、1,000 円をお支払いください。
- 日本 MISt 研究会の入会も受け付けております。入会ご希望の方は、所定の入会申込書に必要事項をご記入のうえ、受付にご提出ください。後日事務局より登録完了のメールを送信いたします。
申込書ご提出から 1 週間経過しても登録完了メールが届かない場合には、事務局
(TEL : 052-751-8197 E-mail : mist_central@hachiya.or.jp) までご連絡ください。

発表規定

- 今回の発表は PC によるプレゼンテーションのみといたします。その他スライド、ビデオ等は使用できません。スクリーンは 1 面です。
- 発表用 PC は Office2010 をご用意いたします。
- メディアにて発表データをご準備いただく場合、メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、ウイルス駆除ソフトにてチェックしたものをご準備くださいますようお願いいたします。
- 発表データに動画・音声ファイルがある場合、また Macintosh をご使用の場合には、ご自身の PC をご使用ください。 Macintosh 等、プロジェクタとの接続にディスプレイアダプタを必要とする PC をご使用の場合は、必ずディスプレイアダプタをお持ちください。
- セミナーの円滑な進行の為、ご発表は時間厳守にてお願いいたします。
- 1 名に優秀演題賞を授与いたします。
- 演題発表時間は、特別講演50分+質疑応答10分・一般演題セッション5分+質疑応答2分です。

プログラム

10:00

開会のご挨拶

明田 浩司

10:05～10:47

一般演題 A

座長

宮本 敬

A-1. 中国大連における低侵襲脊椎手術の現状

中国大連市中病院 脊椎外科 王 洪昌(おう こうしょう)他

A-2. MISt におけるご遺体でのサージカルトレーニングの有用性

NPO 法人メリジャパン 加集 紀子(かしゅう のりこ)他

A-3. 頰椎後弯症に対する前方固定を併用した低侵襲椎弓形成により long fusion を回避する

聖隷浜松病院 セボねセンター 吉水 隆貴(よしみず たかき)他

A-4. 胸腰椎移行部の骨粗鬆症性椎体骨折に対する VP+PPS

稲沢市民病院 脳神経外科 中島 康博(なかじま やすひろ)他

A-5. LIF で神経損傷を起こさないための工夫(特に L4/5 レベルで)

名古屋市立大学 整形外科 水谷 潤(みずたに じゅん)他

A-6 CBT スクリューは先端を抜くべきか? - 腰仙椎での解剖学的位置検討-

名古屋市立大学 整形外科 大塚 聖視(おおつか せいじ)他

10:47～11:29

一般演題 B

座長

中野 恵介

B-1. 腰椎側方侵入椎体間固定術(LLIF)の合併症と対策について

高岡市民病院 整形外科 中野 正人(なかの まさと)他

B-2. 変性側弯症に対する LIF を併用した矯正固定術

浜松医科大学 整形外科 大和 雄(やまと ゆう)他

B-3. 成人脊柱変形手術における LIF ケージ感染の1例

浜松医科大学 整形外科 吉田 剛(よしだ ごう)他

B-4. XLIF 術後の隣接椎間障害に対する経皮的内視鏡手術

国立病院機構 豊橋医療センター 整形外科 八木 清(やぎ きよし)他

B-5. 広範囲終板欠損症例に対する LIF の有用性

国立病院機構 豊橋医療センター 整形外科 八木 清(やぎ きよし)他

B-6. 終板の不整を有する椎体間に行った LIF ～1 年後の椎体間安定性の評価～

村瀬病院 整形外科 藤原 達彦(ふじわら たつひこ)他

11:29～12:11 一般演題 C

座長 中野 正人

C-1. MIS-TLIF より低侵襲への工夫

聖隷浜松病院 セボねセンター 石井 圭史(いしい けいじ)他

C-2. 感染性脊椎炎に対する脊椎インスツルメンテーションを用いた手術治療の成績

-従来群、MISt 応用群の比較検討-

岐阜市民病院 整形外科・脊椎センター 宮本 敬(みやもと けい)他

C-3. 導出電極が術中モニタリングに及ぼす影響 ～MIStにおける有用性について～

名古屋第二赤十字病院医療技術部生体検査課 井澤 和美(いざわ かずみ)他

C-4. コンピューター支援による rod 作成の小経験

高岡整志会病院 整形外科 澤田 利匡(さわだ としただ)他

C-5. Box cage を使用した Mini-OPEN PLIF での Subsidence

名古屋第二赤十字病院 整形外科 岩野 壮栄(いわの しげはる)他

C-6. 当科での X-Core[®]2 VBR システムの使用経験

三重大学医学部附属病院 整形外科 加藤 次朗(かとう じろう)他

12:11～13:11 特別講演

座長 金村 徳相

L-1. 椎体間骨癒合 -MISt とサイエンス-

大阪大学大学院 医学系研究科・器官制御外科学 海渡 貴司(かいと たかし)

※日整会教育研修単位 資格継続単位 07 脊椎脊髄疾患/SS

13:11 優秀演題賞発表

明田 浩司

13:13 次回研究会ご案内・閉会のご挨拶

水野 勝則

※ 閉会のご挨拶の後、参加者写真撮影を行います

抄 録 集

Abstracts

特別講演

座長：江南厚生病院 整形外科 金村 徳相先生

椎体間骨癒合 -MISt とサイエンス-

講師：大阪大学大学院 医学系研究科・器官制御外科学

助教 海渡 貴司(かいと たかし) 先生

一般演題 A

A-1

中国大連における低侵襲脊椎手術の現状

王 洪昌 (おう こうしょう) 1)、佐藤 公治 2)、安藤 智洋 2)、鈴木 喜貴 2)、鵜飼 淳一 2)

1) 中国大連市中病院 脊椎外科、 2) 名古屋第二赤十字病院 整形外科

中国大連市中病院は病床数 2000 以上の中国大連での中核病院であるが、現在の整形外科・脊椎手術の状況と低侵襲脊椎手術の一つとして施行している椎体形成術について紹介報告する。

A-2

MISt におけるご遺体でのサージカルトレーニングの有用性

加集 紀子 (かしゅう のりこ) 1)、蜂谷 裕道 2)、大口 寛 1)、水谷 潤 3)、佐藤 公治 4)、金村 徳相 5)

1) NPO 法人メリジャパン、2) はちや整形外科病院、3) 名古屋市立大学、4) 名古屋第二赤十字病院、5) 江南厚生病院

われわれは、本邦にてサージカルトレーニングを法の下で行えるようにする活動を 2006 年より進めてきた。今回名古屋市立大学先端医療技術イノベーションセンターが開設され、XLIF の手術手技実習を 2 回実施したので、その結果を報告する。

A-3

頸椎後弯症に対する前方固定を併用した低侵襲椎弓形成により long fusion を回避する

吉水 隆貴 (よしみず たかき) 1)、佐々木 寛二 1)、石井 圭史 1)、渡邊 水樹 1)

1) 聖隷浜松病院 せぼねセンター

通常、不安定性や後弯を伴う頸椎疾患には長範囲固定を選択することが多いが、前方一椎間固定と小侵襲椎弓形成を同時に行う事で、椎弓形成単独でもアライメントを改善させ、MISt 化する事が出来た。

A-4

胸腰椎移行部の骨粗鬆症性椎体骨折に対する VP+PPS

中島 康博 (なかじま やすひろ) 1)、原 政人 1)、梅林 大督 1)、山本 優 1)、深谷 宜央 1)

1) 稲沢市民病院 脳神経外科

局所 alignment は悪くなく椎体変形や不安定性の強い骨粗鬆症性椎体骨折に対し、骨癒合後の早期抜釘を前提とした経皮的椎体形成術と椎弓根スクリューでの後方固定術を施行している。今回、胸腰椎移行部病変に於ける手術時の工夫や人工骨別の治療成績等を報告したい。

A-5

LIF で神経損傷を起こさないための工夫（特に L4/5 レベルで）

水谷 潤 (みずたに じゅん) 1)、福岡 宗良 1)、鈴木 伸幸 1)、大塚 聖視 1)、近藤 章 1)、大塚 隆信 1)
1) 名古屋市立大学 整形外科

LIF 手術では運動神経損傷が大きな問題となる。XLIF では運動神経のモニタリングを行うとはいえ、神経叢の走行から L4・5 での神経損傷の回避は重要な問題である。L4・5 レベルでの工夫を報告する

A-6

CBT スクリューは先端を抜くべきか？-腰仙椎での解剖学的位置検討-

大塚 聖視 (おおつか せいじ) 1)、福岡 宗良 1)、水谷 潤 1)、鈴木 伸幸 1)、近藤 章 1)、大塚 隆信 1)
1) 名古屋市立大学 整形外科

CBT 法は、その刺入方向から screw 先端が椎体の上外縁に向かうことになる。先端が椎体前方皮質を貫通することで固定性が増すことが知られているが、一方で前方への突出による神経根障害や動静脈損傷の危険性をはらんでいる。今回神経根の解剖学的位置関係を、解剖人献体を用いて検証した。

一般演題 B

B-1

腰椎側方侵入椎体間固定術 (LLIF) の合併症と対策について

中野 正人 (なかの まさと) 1)、藤田 雄介 1)、野上 重治 1)、小林 賢司 1)、前田 明夫 1)、川口 善治 2)、安田 剛敏 2)、関 庄二 2)、信清 正典 3)、青木 雅人 3)、西能 健 3)

1)高岡市民病院、2) 富山大学、3) 西能病院

腰椎側方侵入椎体間固定術 (LLIF) の周術期・術後合併症を調査し、その対策について考察する。

B-2

変性側弯症に対する LIF を併用した矯正固定術

大和 雄 (やまと ゆう) 1)、長谷川 智彦 1)、小林 祥 1)、戸川 大輔 1)、安田 達也 1)、吉田 剛 1)、坂野 友啓 1)、三原 唯暉 1)、大江 慎 1)、松山 幸弘 1)

1) 浜松医科大学 整形外科

変性側弯症に対する LIF を併用した二期的後方矯正固定 (LIF 法) の短期成績を調査し、それ以前の多椎間後方要素骨切り (PCO) を用いた方法 (PCO 法) と比較し報告する。

B-3

成人脊柱変形手術における LIF ケージ感染の 1 例

吉田 剛 (よしだ ごう) 1)、大和 雄 1)、長谷川 智彦 1)、戸川 大輔 1)、松山 幸弘 1)

1)浜松医科大学 整形外科

症例は 52 歳男性。医原性後弯に対し当院で 2 期的 LLF+T10-illac 後方矯正固定した後に、後方インプラントの SSI を生じた。感染は前方 LIF ケージまで及んだ。前後方ともインプラントを温存し感染は鎮静化するも、骨切り部でロッド折損を生じ固定の延長手術を要した。成人脊柱変形手術の感染と LIF ケージ感染について当院での経験と文献的考察を加え報告する。

B-4

XLIF 術後の隣接椎間障害に対する経皮的内視鏡手術

八木 清 (やぎ きよし) 1)、大塚 聖視 2)、水谷 潤 2)

1)国立病院機構豊橋医療センター 整形外科、2)名古屋市立大学病院 整形外科

XLIF 術後に固定隣接椎間障害 (ASD) として腰椎椎間板ヘルニアを認め、経皮的内視鏡下椎間板ヘルニア摘出術 (PED) を施行した。ロッドやスクリューとの干渉はなくヘルニアの摘出が可能であった症例を報告する。

B-5

広範囲終板欠損症例に対する LIF の有用性

八木 清 (やぎ きよし) 1)、水谷 潤 2)、柴田 康宏 1)

1) 国立病院機構豊橋医療センター 整形外科、2) 名古屋市立大学病院 整形外科

56 歳女性。広範囲に椎体終板損傷と嚢胞形成があり、通常の椎体間ケージではケージ沈下が必発と考えられた症例に対して XLIF を施行し、ケージ沈下なく良好に骨癒合を得た症例を経験したので報告する。

B-6

終板の不整を有する椎体間に行った LIF ～1 年後の椎体間安定性の評価～

藤原 達彦 (ふじわら たつひこ) 1)、近藤 哲士 1)、宮崎 晋一 1)、今西 隆夫 1)、塩川 靖夫 1)

1) 村瀬病院 整形外科

当院では腰椎の多椎間狭窄例や変性側弯を中心に LLIF を導入しているが、椎体骨折後の終板不整を伴う椎体間に対しても数例 LIF を施行した。椎体間ケージの接触が不良と思われる症例の 1 年経過時点での椎体間安定性をレントゲン、CT を用いて後ろ向きに調査したので報告する。

一般演題 C

C-1

MIS-TLIF より低侵襲への工夫

石井 圭史 (いしい けいじ) 1)、佐々木 寛二 1)、渡邊 水樹 1)

1) 聖隷浜松病院 せぼねセンター

MIS-TLIFをより低侵襲にするために、約3cmの正中1皮切で経皮的スクリューを併用して手術を行ってきた。手術時間、出血量、VASとも安定した成績が得られた。

C-2

感染性脊椎炎に対する脊椎インスツルメンテーションを用いた手術治療の成績 従来群、MISt 応用群の比較検討

宮本 敬 (みやもと けい) 1)、近藤 祐一 1)、清水 克時 1)、伏見 一成 2)、野澤 聡 2)、岩井 智守男 2)、
秋山 治彦 2)

1) 岐阜市民病院 整形外科・脊椎センター、2)岐阜大学 整形外科

感染性脊椎炎に対する脊椎インスツルメンテーションを用いた手術治療の成績において、従来群 (open PS システムを使用)、MISt 応用群 (PPS システム及びそれに準じた方法を選択) の2群の比較検討を行ったので報告する。

C-3

導出電極が術中モニタリングに及ぼす影響 ～MIStにおける有用性について～

井澤 和美 (いざわ かずみ) 1)、近藤 規明 1)、岩田 典和 1)、橋本 光弘 1)、西川 知沙 1)

1) 名古屋第二赤十字病院 医療技術部生体検査課

針電極と表面電極で MEP 導出波形の振幅を比較した。表面電極は針電極と比べて得られる波形がやや低振幅だった。また微弱電流刺激誘発筋電図ではノイズ対策を十分行う必要がある。

C-4

コンピューター支援による rod 作成の小経験

澤田 利匡 (さわだ としただ) 1)、中野 恵介 1)、浅利 享 1)、川岸 利光 1)

1)高岡整志会病院 整形外科

当院では O-arm での OLIF 後に必要であれば二期的に long fusion を行っているが、今回 Bendini(NUVASIVE) による術中 rod 作成システムを用いて、後方固定を行ったので報告する。

C-5

Box cage を使用した Mini-OPEN PLIF での Subsidence

岩野 壮栄(いわの しげはる)1)、安藤 智洋 1)

1)名古屋第二赤十字病院 整形外科

MIS-PLIF では十分な椎間板切除や広範な母床作成が難しい。bullet cage を用いた Mini-OPEN PLIF では subsidence を認めた。今回 Box cage に変更して PLIF を行ったので報告する。

C-6

当科での X-Core®2 VBR システムの使用経験

加藤 次郎 (かとう じろう) 1)、明田 浩司 1)、榊原 紀彦 1)、笠井 裕一 1)、湊藤 啓広 1)

1) 三重大学医学部附属病院 整形外科

当科にて椎体骨折後偽関節、脊柱後弯変形などに対し、椎体ケージを用いて前方脊柱再建を行った 10 症例の内、8 例に X-Core®2 VBR システムを使用した。その術式及び治療経験と合併症について報告する。

MEMO

ご協賛いただいた企業様

- アステラス製薬株式会社
- 株式会社アルファテック・パシフィック
- エーザイ株式会社
- 小野薬品工業株式会社
- KiSCO 株式会社
- 塩野義製薬株式会社
- ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ウーンドクロージャー営業部
- ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 デビューシンセス スパイン事業部
- センチュリーメディカル株式会社
- 第一三共株式会社
- 中外製薬株式会社
- 日本イーライリリー株式会社
- 株式会社日本エム・ディ・エム
- 日本ストライカー株式会社
- ニューベイスンズジャパン株式会社
- 久光製薬株式会社
- HOYA Technosurgical 株式会社
- メドトロニックソファモアダネック株式会社
- ヤンセンファーマ株式会社
- 株式会社ロバート・リード商会

(五十音順)

ご協力いただき誠にありがとうございました

まだないくすりを 創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。



明日は変えられる。



www.astellas.com/jp/



患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。



セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤

薬価基準収載

サインバルタ[®]

カプセル20mg
カプセル30mg

Cymbalta[®] デュロキセチン塩酸塩カプセル

創薬、処方箋医薬品^{※1}

注1) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果, 用法・用量, 禁忌を含む使用上の注意等については, 添付文書をご参照下さい。

©: 米国イーライリリー・アンド・カンパニー登録商標

製造販売元 [資料請求先]

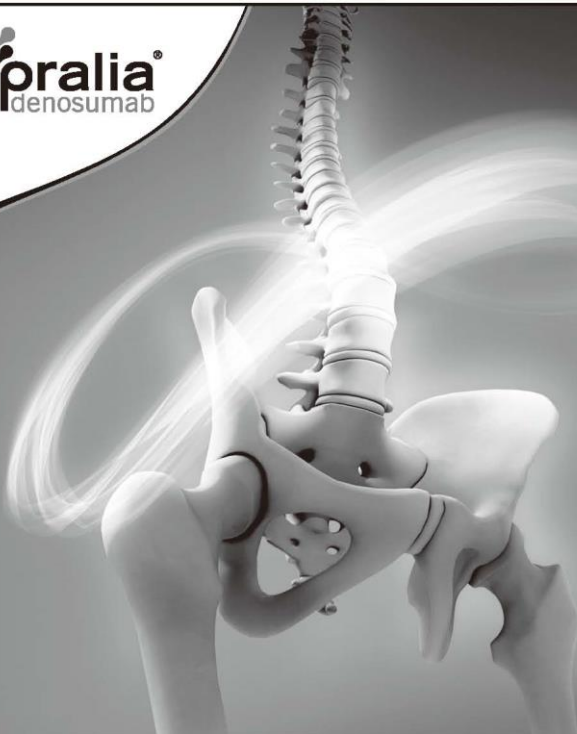


シオノギ製薬

大阪市中央区道修町3-1-8
医薬情報センター ☎0120-956-734

CYM-KO-102A(C1)

審H8137 2015年1月作成



薬価基準収載

ヒト型抗RANKLモノクローナル抗体製剤

プラリア[®] 皮下注60mg シリンジ

一般名 / デノスマブ (遺伝子組換え)

生物由来製品、創薬、処方箋医薬品*

*注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元(資料請求先)



第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

提携

AMGEN[®]

2015年4月作成



骨粗鬆症治療剤

創薬 処方箋医薬品^{注)}

薬価基準収載

新発売

ボンビバ[®]錠100mg

Bonviva
ibandronate

イバンドロン酸ナトリウム水和物錠

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」などについては添付文書をご参照ください。



発売〔資料請求先〕
大正富山医薬品株式会社
〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1
お問い合わせ先: ☎0120-591-818
メディカルインフォメーションセンター

製造販売元



中外製薬株式会社
〒103-8324 東京都中央区日本橋豊町2-1-1

Rohto ロシュグループ

〔資料請求先〕メディカルインフォメーション部
TEL.0120-189708 FAX.0120-189705

©F.ホフマン・ラ・ロシュ社(スイス)登録商標

2016年4月作成



セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤

薬価基準収載

サインバルタ[®] カプセル20mg カプセル30mg

Cymbalta[®] デュロキセチン塩酸塩カプセル

創薬 処方箋医薬品^{注)}
注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等
については、添付文書をご参照下さい。

©: 米国イーライリリー・アンド・カンパニー登録商標



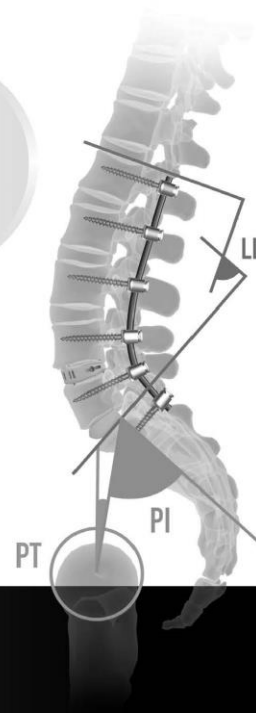
製造販売元〔資料請求先〕
シオノギ製薬
大阪市中央区道修町3-1-8
医薬情報センター ☎0120-956-734



販売〔資料請求先〕
日本イーライリリー株式会社
〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号
電話 0120-360-605 (医薬情報問合せ窓口)
http://www.lillyanswers.jp

CYM-KO-105A(A1) CYMP-A019(R0)
審R1037 2016年5月作成

ALIGNMENT MATTERS.™



Integrated Global Alignment (iGA™) is a platform comprised of procedurally based technologies, designed to enhance clinical and economic outcomes by increasing the predictability of achieving global alignment in all spinal procedures. Integration across the surgical workflow allows the surgeon to confidently and reproducibly:

- **Calculate** alignment parameters with preoperative planning tools.
- **Correct** the anterior and posterior column with comprehensive procedural solutions from NuVasive® with the industry's only real-time intraoperative assessment.
- **Confirm** the restoration and preservation of global alignment postoperatively.

RELINE XLIF ACR

NUVAMAP® O.R. BENDINI NUVASIVE® Speed of Innovation®

©2016. NuVasive, Inc. All rights reserved. NuVasive, Speed of Innovation, ACR, Bendini, CoRoent, NVM5, Reline, and XLIF are registered trademarks of NuVasive, Inc. Alignment Matters, iGA, and NuvaMap are trademarks of NuVasive Inc.

製造販売業者 ニューベイスジャパン株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座7-14-13 日土地銀座ビル
TEL 03-3549-6500 FAX 03-3549-6501

販売名: CoRoent Large PEEK ケージシステム
販売名: CoRoent XL PEEK ケージシステム
販売名: NVM5 神経モニターシステム
販売名: RELINE スパイナルシステム

承認番号: 22600BZX00129000
承認番号: 22500BZX00197000
承認番号: 223ADBZX00079000
承認番号: 22800BZX00087000

16-NUVA-0914

Hisamitsu.

筋皮鎮痛消炎剤 [承認済医薬品]
モーラス.パップXR120mg
MOHRUS.PAP XR120mg
ケトプロフェン2%

筋皮鎮痛消炎剤 [承認済医薬品]
モーラス.パップXR240mg **新発売**
MOHRUS.PAP XR240mg
ケトプロフェン2%

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元: **久光製薬株式会社**
〒841-0017 鳥栖市田代大宮町408番地

資料請求先: 学術部 お客様相談室
フリーダイヤル 0120-381332 FAX. (03) 5293-1723

2017年2月作成

ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 薬価基準収載

シンプニー[®] 皮下注 50mg シリンジ

ゴリムマブ(遺伝子組換え)製剤 生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品*
 Simponi[®] Subcutaneous Injection *注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、
 製品添付文書をご参照ください。

janssen PHARMACEUTICAL COMPANY OF JANSSEN-ILKO
 製造販売元(資料請求先)
ヤンセンファーマ株式会社
 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2
 URL: <http://www.janssen.co.jp>

 発売元(資料請求先)
田辺三菱製薬株式会社
 大阪市中央区道修町3-2-10

© Janssen Pharmaceutical K.K.2015 2015年6月作成



CALIBER

CFR-PEEK CAGE



✓ 日本人向けにスモールサイズを充実させた
 サイズバリエーション

✓ 皮質骨と近似した弾性係数

(素材である PEEK-OPTIMA は、皮質骨に近似した弾性係数を有しているため、
 チタン製ケージ等)に比べ椎体終板界面での沈み込みが起りにくくなります。)

第1種医療機器製造販売業者

ROBERT REID INC.

株式会社ロバート・リード商会
 〒112-0002
 東京都文京区小石川4-22-2 小石川4丁目ビル
 TEL: 03-3830-7373 FAX: 03-3830-7376

販売名 CFR PEEK ケージ
 承認番号 22100BZX00916000

第7回中部 MISt 研究会 プログラム・抄録集

2017年3月20日発行

発行：中部 MISt 研究会事務局

〒464-0821 名古屋市千種区末盛通2-4

医療法人蜂友会 はちや整形外科病院内

TEL:052-751-8197 FAX:052-751-8169